町のぼうさいしせつをさがそう

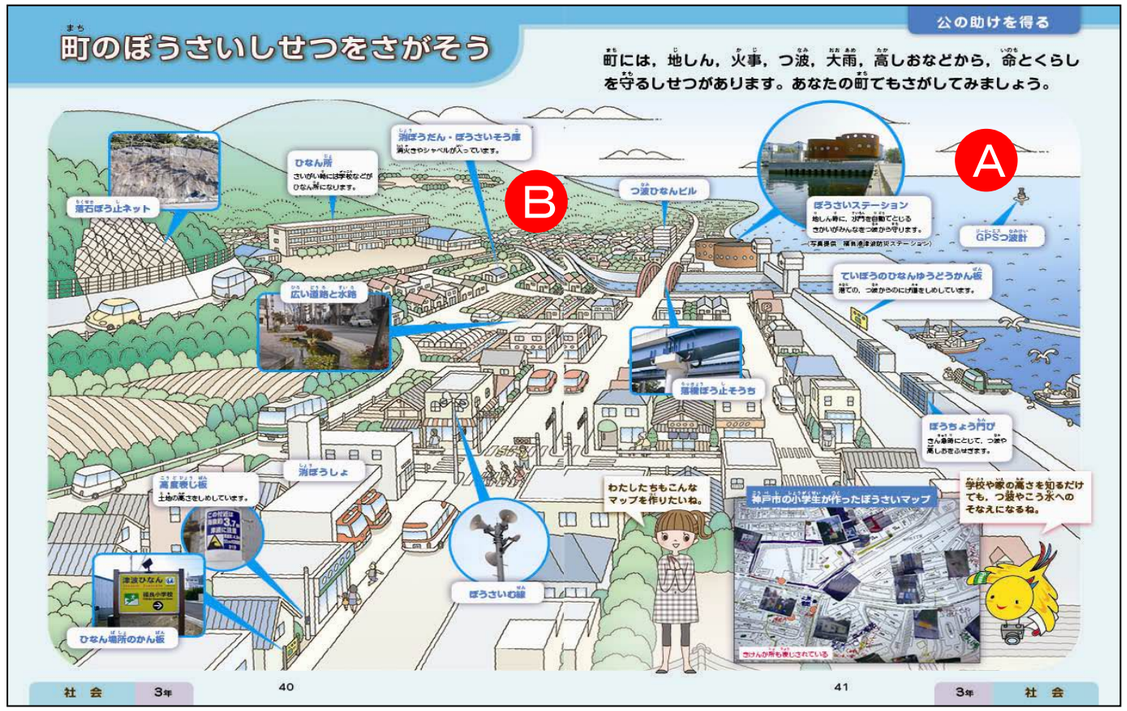
題材のねらい　地域にある安全設備等について、地域の人に聞いたり調べたりして、安全を守るための活動をまとめ地域社会の一員としての自覚を育成する。

教科等との関連　社会　（4）

地域社会における災害及び事故の防止について，次のことを見学，調査したり資料を活用したりして調べ，人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。

展　開　例

	学習活動	指導上の留意点
導入	みんなの命や暮らしを守る施設等を知る。	・イラストを見せ、身の回りに様々な防災施設や設備があることを知らせる。
展開	地域に出かけ命を守る施設を調査する。	・調査する際、災害の種類を想起させることで、防災施設にはそれぞれの災害に対応した種類があることを発見させる。 ※地域の人に子どもたちの案内役をお願いするなど安全に留意して実施する。
まとめ	命を守るための地域の人々の工夫や努力を発表する。	・施設、設備の理解にとどまることなく災害から命を守ろうとする地域の人の願いや工夫、努力について考えさせる。 ※調査の際に撮影した写真などを活用し、防災マップ作りにつなげたい。



A　GPS 津波計・・・海上に浮かべたブイの最上部に GPS アンテナを搭載し、精密測位技術により海面の変化をリアルタイムに観測することができる。津波が海岸へ襲来する前に、探知できることから、津波対策に期待されている。

B　防災倉庫・・・・地域防災の備えとして、様々な物資や消耗品（ポンプ・消火器・ライト・燃料非常食糧等）が保管・備蓄されている倉庫。

★　津波と高潮の違い

「高潮」…台風や発達した低気圧により、波浪（高波やうねり）が発生して、海面の高さがいつもより異常に高くなる現象。

「津波」…地震等により、海底で急激な地形の変化が起こり、海面が盛り上がる現象。高潮と違い、海水は大きな塊となって沿岸に押し寄せるため、様々な被害を生じさせる。